

たてばやし学校エコライフ 活動報告書

（令和6年度版）

令和7年2月

館林市市民環境部地球環境課

館林市教育委員会学校教育課

1 「たてばやし学校エコライフ活動」の概要

(1) 目的

「たてばやし学校エコライフ活動」は、令和 2 年 3 月に策定された「第三次館林市環境基本計画」において、「学校での環境教育の推進」、重点プロジェクトの一つ「意識啓発プロジェクト」として重要な取組の一つとして位置付けられ、次の目的のために実施するものです。

①環境に配慮した生活習慣の定着

学校生活の中で、創意工夫しながら実践し、生活習慣化することで、日常的に環境に配慮した学校生活を営めるようにします。

②温室効果ガスの削減及び省エネの推進

館林市教育委員会は、地球温暖化対策などの法律に基づく対象施設であるため、温室効果ガスの削減及び省エネの推進が責務となっています。

③家庭・地域の事業者・地域全体への環境配慮行動の波及

子どもたちが「たてばやし学校エコライフ活動」によって身につけた環境配慮行動を家庭でも実践することにより、地域での環境配慮活動として普及していくことが期待されます。

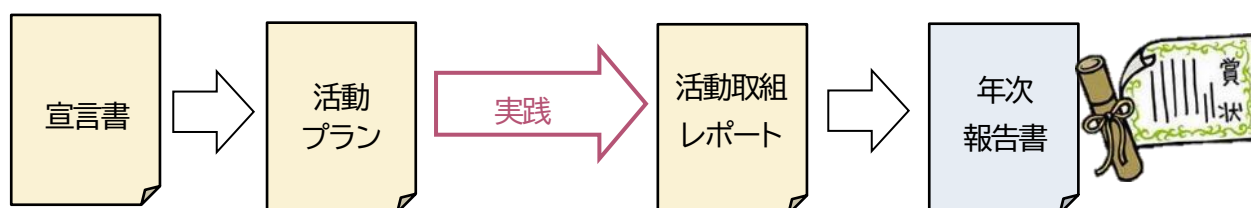
(2) 定義

「たてばやし学校エコライフ活動」とは、「環境教育」の「実践の場」として、学校生活における省エネや省資源などの環境に配慮したエコ活動のことをいいます。

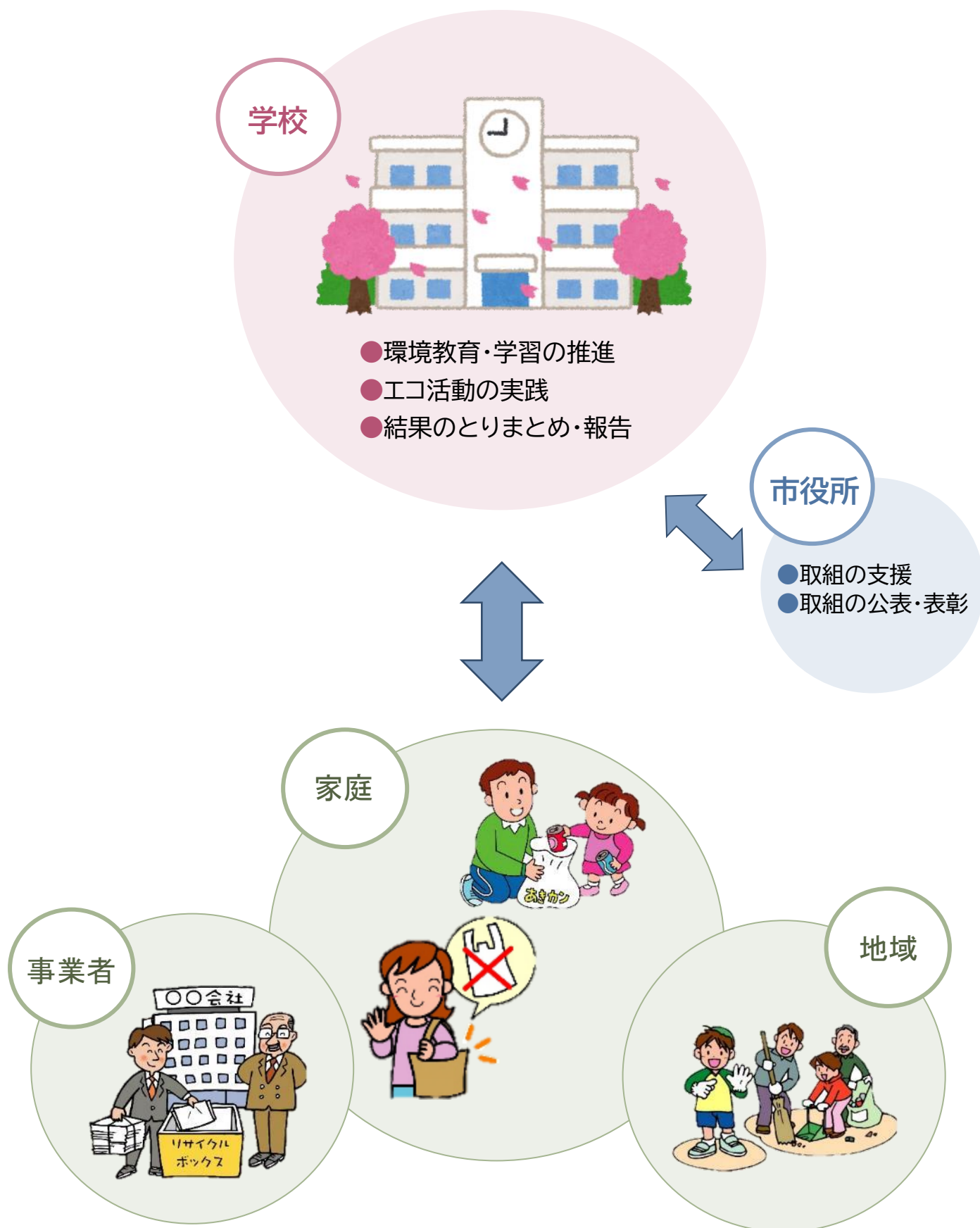
(3) 仕組み

たてばやし学校エコライフ活動では、学校生活での活動を実践・推進していくための方向性を定める「学校エコライフ活動宣言書」を作成し、その方向性に沿って「学校エコライフ活動プラン」を組み立て、取組を推進していきます。なお、従前から実施してきた環境教育等については、従来通り継続実施していきます。

学校エコライフ活動での取組結果は「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」にとりまとめ、地球環境課に報告します。また、これらの取組のうち、特に他の模範となるものについては表彰し、取組を奨励していきます。



(4) 全体像



(5) 令和6年度の取組

令和6年度は、概ね次のとおり実施しました。

月	スケジュール	学校での実施事項	学校への支援等
4月	準備 ↓	- 推進体制づくり 宣言の決定 - 学校エコライフ活動に取り組む方向性・内容の決定	
5月			実務担当者向け研修会
6月		『学校エコライフ活動宣言書』の作成 『学校エコライフ活動プラン』の作成	宣言書・活動プラン → 報告
7月	実践 ↓	活動の推進 - 活動の実践	
8月			
9月			学校訪問（1校）
10月			
11月			学校訪問（3校）
12月		活動の報告 - 取組結果のとりまとめ 『学校エコライフ活動取組レポート』の作成	
1月		学校エコライフ活動取組報告	取組レポート → 報告
2月			
3月		- 取組結果の周知 取組の継承 - 次年度への引継ぎ	たてばやし学校エコライフ活動報告 たてばやし学校エコライフ通信の発行

2 各校の取組結果

令和6年度における各校の取組結果は次のとおりです。

(掲載順序)

No.	学校名	宣言書スローガン	頁番号
1	第一小学校	みんなでエコにチャレンジ！一小を緑あふれる学校へ	5・6
2	第二小学校	限りある資源を大切に、環境にやさしい学校を目指します	7・8
3	第三小学校	緑化と節水、節電、資源回収を通して地球にやさしい学校をつくり ます	9・10
4	第四小学校	緑と花のあふれる四小にしよう	11・ 12
5	第五小学校	五小の緑、水、電気は私たちが守ります！	13・ 14
6	第六小学校	ぼくもわたしもエコ活動に取り組みます	15・ 16
7	第七小学校	節水や節電、食品ロス対策に取り組み、「温室効果ガス排出量」ゼロ に貢献します	17・ 18
8	第八小学校	節電・節水を心がけ、資源を大切に環境にやさしい学校を目指 します	19・ 20
9	第九小学校	身近な自然についてよく学び、自然を大切にできる学校を目指しま す	21・ 22
10	第十小学校	一人一人が 資源やエネルギーを大切に、輝く地球 輝く学校に なるよう努力します	23・ 24
11	美園小学校	節水とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します	25・ 26
12	第一中学校	身近にできることから、地球にやさしい一中へ！	27・ 28
13	第二中学校	二中から地域へ みんなの過ごしやすい環境を	29・ 30
14	第三中学校	限りある資源を守り、エコの意識を高めよう！	31・ 32
15	第四中学校	エコを大切に、自然を誇れる四中へ	33・ 34
16	多々良中学校	緑を育て、みんなの笑顔を咲かせよう	35・ 36

館林市立第一小学校

宣言書スローガン

みんなでエコにチャレンジ！一小を緑あふれる学校へ

取組テーマ

- 1 省エネルギー
- 2 省資源・リサイクル
- 3 緑化活動

取組目標

一人ひとりがエコ活動を実践し、緑あふれる美しい学校を目指します。

取組内容

- 1 使用していない教室と廊下の照明や扇風機などの空調、パソコンの電源は、こまめに消すよう心掛けた。
- 2 節電や節水、リサイクルを全校の児童に呼びかけるため、リサイクル委員会が啓発用のポスターを作成し、校内に掲示した。また、新聞の作成も行い、掲示した。
- 3 各教室にあるゴミ箱やゴミステーションに、誰でも分別ができるように掲示を行い、分別の徹底を図った。
- 4 古紙回収を行う際、古紙回収 BOX の中身を、リサイクル委員会で確認することで、確実な分別に努めた。また、古紙回収できるものとできないものを絵で表し、古紙回収 BOX に貼った。さらに、家庭にも、古紙回収日の前に便りを配信し、多くの古紙が回収できるようにした。
- 5 緑化委員会を中心に、PTA の方々と協力して、花の植え替え作業を行ったり、「緑のカーテン」を作成したりした。
- 6 緑化委員会を中心に呼びかけ、全校児童の中から「花植ボランティア」を募集し、花植えを行った。併せて、水やりや草取りなど、児童で維持管理を行った。
- 7 地域の方から、「花壇ボランティア」を募集し、児童と一緒に、花植えや花壇の整備などに参加していただいた。
- 8 ペットボトルキャップ回収ボックスを作成し、回収を行った。結果、100kg 以上ものペットボトルキャップが集まり、寄付することができた。
- 9 1 年生～2 年生が、卒業式と入学式に向け、一人一鉢運動を行った。

今年度のまとめ

今年度は、既存の取組についての改善を行うと共に、よりエコを全校で推進していくためには、どうしたらよいかを念頭に置き、活動を行った。全校を対象に行った「花植ボランティア」や「ペットボトルキャップ回収」では、児童全員が活躍できる場を設定し、結果として、児童が意欲的に活躍する姿が見られた。

来年度に向けた目標

今年度は、昨年度の反省を生かし、「みんなでエコにチャレンジ」を合言葉に、全校で参加できるような取組を行った。個々で活動することも大切だが、全員がエコについて理解し、意識することがより大切だと考える。このことから、来年度は、より児童が主体となって取組ができるよう、児童から企画を募集し、実施していきたい。

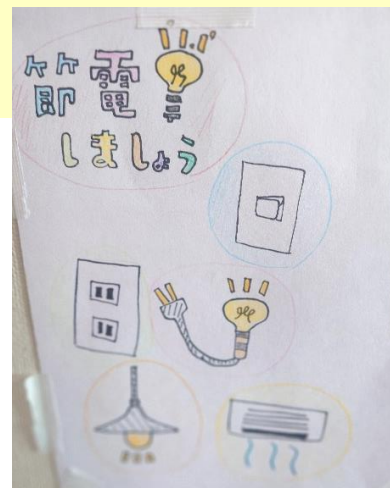
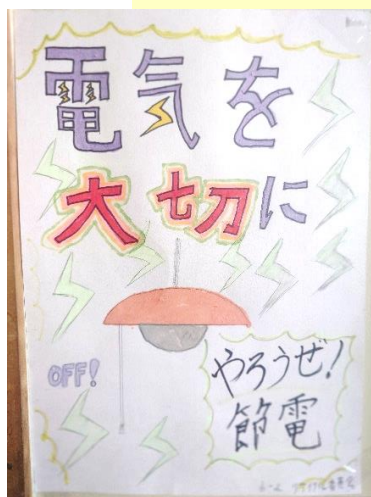


△児童による花植えボランティア

▷一人一鉢運動



▽節電・節水啓発ポスター



△ペットボトルキャップ回収

館林市立第二小学校

宣言書スローガン

限りある資源を大切に、環境にやさしい学校を目指します

取組テーマ

1 温室効果ガス排出量「ゼロ」

取組目標

花や緑を増やし、節電、リサイクルを推進した生活を送ります。

取組内容

- 1 教室やトイレの照明は、使わない時は率先して消し、啓発ステッカーを掲示するとともに、節電を呼びかけた。
- 2 掃除や授業時のゴミは、分別を徹底した。
- 3 節水を呼びかけるポスターを作成し、手洗いの時はこまめに水を止めたり、清掃時はバケツに水をためて使用したりして、節水に努めた。
- 4 職員に対して、学期ごとに古紙回収を行う際に協力を呼びかけた。また、地域に対しても協力を呼びかけ、5月にPTA活動として資源回収を行った。児童の古紙回収は、青少年赤十字委員会が月1回、教室の古紙を回収した。
- 5 園芸委員会は定期的に花植えや除草など花壇整備を行い、環境美化に努めた。
- 6 学校沿いの花壇のつつじの子房つみを行い、郷土の自然環境整備に貢献した。
- 7 温水ペットボトルを作成し、クリーンエネルギーの活用を行った。
- 8 各家庭に協力を仰ぎ、委員会活動の一環としてペットボトルキャップの回収を行い、自然環境保護の一助となった。
- 9 給食委員会では、食品ロスについてのポスターを作成したり、給食中に放送をしたりするなど、校内に呼びかけた。

今年度のまとめ

自分が担当する昨年度以前から継続的に行っていた活動をそのまま残して活動することができた。それに加え、今年度は初めての取組となるペットボトルキャップの回収も行うことができた。

来年度に向けた目標

今年度初めて取り組んだペットボトルキャップ回収が予想をかなり上回る量を回収できたので、来年度は実施方法や期間等を工夫し、よりよい活動にできるようにしていきたい。



つつじの子房つみ



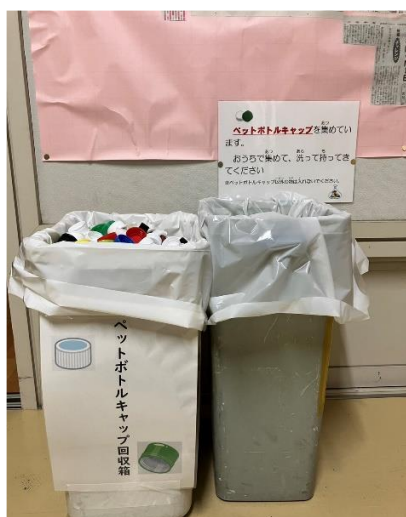
花壇の整備



節水啓発ポスター



食品ロスポスター



ペットボトルキャップ
回収

館林市立第三小学校

宣言書スローガン

緑化と節水、節電、資源回収を通して、環境にやさしい学校をつくります

取組テーマ

- 1 緑化
- 2 節水・節電
- 3 資源回収

取組目標

花と緑を増やす事を心がけます。
節水、節電を啓発する活動に取り組みます。
資源を回数し、リサイクル活動に取り組みます。

取組内容

- 1 学校園委員を中心に、季節の花を育て、花壇の美化を図った。
- 2 古紙回収ボックスを各クラスに設置し、奉仕美化委員が定期的に回収することで、学校全体のリサイクルへの意識を高めた。
- 3 4年生が、校舎の南窓側に「ヘチマの緑のカーテン」を作り、緑を鑑賞したり、理科の授業で観察をしたりした。
- 4 学校園委員を中心に、節水・節電のポスターを作成し、児童が行動に移すことができるように呼びかけた。
- 5 3年生が、日本遺産「里沼」の城沼を訪れ、動植物や環境を守る取り組みについて調べる「城沼探検」をし、疑問点を調べタブレットにまとめて発表をした。

今年度のまとめ

花壇の美化活動を通して、緑化に対する意識が高まり、児童主体で緑化活動に取り組むことができた。また、古紙回収ボックスを各クラスに設置し、定期的に回収することで、リサイクルへの意識が高まり、習慣化することができた。

来年度に向けた目標

緑化活動や環境を守る活動を通して、環境への意識が高まってきたが、個人差があることが課題として考えられる。次年度の取組では、個々の緑化に対する理解を深められるよう啓発活動を行っていきたいと考える。

○緑化

高学年の児童が協力して、花壇に花を植えました。学校園委員の児童が花の世話をしています。



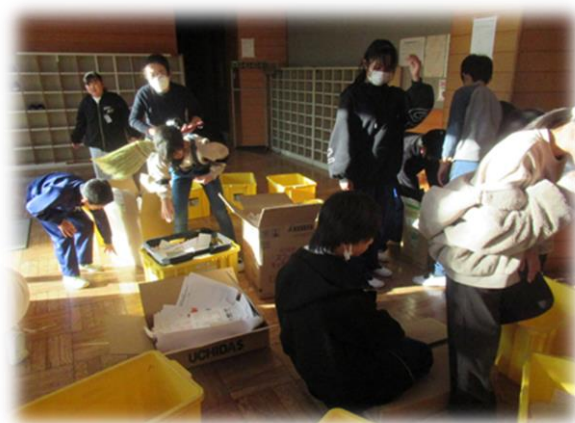
○節水・節電

節水・節電を呼びかけるために、学校園委員でポスターを作り、水道や電気の近くに貼り、啓発活動を行いました。



○古紙回収

奉仕・美化委員の児童が、定期的に古紙回収を行っています。



館林市立第四小学校

宣言書スローガン

緑と花のあふれる四小にしよう

取組テーマ

- 1 緑化
- 2 美化

取組目標

緑や花を大切にし、美しい第四小学校をつくっていきけるよう努めます。

取組内容

- 1 朝行事の「花壇整備」を活用して、児童全員で花壇の花の植え替えや掃除を行った。また、各学級で水やりや手入れを行うことで、環境美化や自然愛護の意識を高めた。
- 2 低学年の生活の授業においてプランターの整備を行い、枯れそうな花を植え替えたりした。
- 3 学校行事「世代間交流」では、地域の方々と協力してさつまいもを育てて収穫し、自然の恵みへの感謝の気持ちを育んだ。
- 4 理科の授業において、ヘチマを育てて緑のカーテンを作り環境整備を行った。

今年度のまとめ

1年を通して花がずっと咲いているように、合計で3回花を植えた。苗から花壇に移して世話をする、花が元気になったり、花の形が変わったりして、観察もできた。

来年度に向けた目標

夏休みは世話が大変なため、花を植えなかった。夏休み明けの運動会時期にちょうど花が植わっていなかったため、次年度は運動会に合わせて植えようと思う。

花壇整備にて草取りをしている様子



緑のカーテン



花を植えている様子



宣言書スローガン

五小の緑、水、電気は私たちが守ります

取組テーマ

- 1 緑の増進
- 2 節水
- 3 節電

取組目標

花と緑の増進に注力し、節水、節電の大切さが一人一人に伝わるようにする。

取組内容

1 花壇の整備

緑の活動費7万円の一部を活用して、花苗、肥料、ホース等を購入して花壇の整備を行った。委員会活動の中で花苗を植えたり、雑草を抜いたりして五小が美しくなるように活動に取り組んだ。また、緑の委員会の常時活動として花への水やりを中心に活動を行った。さらに、授業の一貫でグリーンカーテンの作成も行った。

2 節水、節電の呼びかけ

エアコンの熱効率が上がるように教室のドアを開けっ放しにしないことや、移動教室の時にはこまめに電気を消すことなどを放送を通して学校全体に呼びかけた。

3 オリジナルキャラクターの作成

緑への関心を高めるためと、緑の委員会の常時活動への理解と周知をしてもらうために、緑の委員会で考えた緑のキャラクターをもとに、色や模様、名前などを全校に募った。最終的な選考を委員会で行い、【緑の妖精3姉妹】を決定した。緑の委員会のアピールとなったことはよかった。

4 緑の募金箱の作成

空の牛乳パックの容器を使って募金箱を作成した。周りには【緑の妖精3姉妹】のキャラクターを貼り付けアピールした。

今年度のまとめ

五小の緑、水、電気を守るために活動を行った。花や緑に興味をもってもらいたいという思いで日々の活動に取り組んできた。活動を通して、花や緑の尊さ、水や電気などが普通に使えるありがたさを改めて感じた。

来年度に向けた目標

- ・花や緑のあるよさを学校全体で共有して、生き物を大切にする気持ちを育てていきたい。
- ・水、電気などの限りある資源を大切にしていかなければならない理由を考え、そのために何ができるか計画し、実行できるような仕組みづくりを強化していく。

花への水やりは、常時活動として休み時間に行っています。



4月、10月、1月に枯れてしまった花苗の植え替えを行っています。



植え替えもとてもスムーズにできるようになりました。



配置も考えて植えています。



館林市立第六小学校

宣言書スローガン

ぼくもわたしも エコ活動に取り組みます

取組テーマ

ぼくにもできる、
わたしにもできるエコ活動

取組目標

全校参加

取組内容

- 1 各クラスにリサイクルボックスを設置し、月一回の委員会活動時に回収を行った。
- 2 金曜日毎のアルミ缶・ペットボトルキャップ回収では、「お昼の放送」の中で、回収日前日に「協力をお願い」をし、回収日当日には協力者名を紹介し、その都度「お礼」を行った。
- 3 アルミ缶・ペットボトルキャップの回収では、学期に1回ずつ、二択で「好きな〇〇」を選んだり、運動会に合わせて「〇〇団を応援しよう」と投票形式を取り入れたりし、通常の回収と異なる方法を用いて、リサイクルへの関心を高めた。
- 4 委員会として「エコ」について学習会を開き、学校生活の中で取り組むことができる内容を話し合い、「クラスで取り組むエコ活動」を呼びかけた。
- 5 4年生の社会「健康な暮らし」において、「動く環境教室」エコムーブ号を活用しごみの分別やきれいな水について学習した。
- 6 自然委員会を中心に草花の世話をしたり、体育委員会の呼びかけで校庭の草取りをしたり、全校で環境整備に取り組んだ。

今年度のまとめ

ナッジを使ったアルミ缶・ペットボトルキャップ回収の実施によりリサイクル活動への参加人数を増やすことができた。また、「クラスで取り組むエコ活動」の呼びかけにより、青少年赤十字委員会が行っている活動以外の身近なエコに目を向けるきっかけを作ることができた。

来年度に向けた目標

青少年赤十字委員会の活動が他の委員会や学級主体の活動にも広がり始めた。今後も、定着した常時活動の中にイベントを取り入れたり、各委員会を中心とした呼びかけや活動を増やしたりすることにより、一人一人が自分から行動できる「全校参加」の実現を目指したい。



金曜日の朝は、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の日。名前を確認して、お昼の放送の時間にてお礼をします。



第2回エコウィークは、推しの団に「投票」。一週間を通して、たくさんの児童が参加し、たくさん集めることができました



第2回エコウィークは、運動会で金曜日の朝は、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の日。お名前も確認して、お昼の放送でお礼をします。



エコムーブ号を活用し、「きれいな水」について、ほんの少しと思う汚れでも自然へ及ぼす影響の大きさを、実験を通して学習しました。



自然委員会が中心となって、校舎前の花壇を管理し、花いっぱい为学校づくりに努めました。

体育委員会の呼びかけで、団対抗戦の草取りを実施しました。運動会に向けて、児童みんなで校庭整備に取り組むことができました。



館林市立第七小学校

宣言書スローガン

節水や節電、食品ロス対策に取り組み、「温室効果ガス排出量ゼロ」に貢献します

取組テーマ

- 1 省エネルギー
- 2 「食品ロス」ゼロ

取組目標

七小児童全員が、節水や節電、食品ロス対策を心がけて生活することができる。

取組内容

- 1 「七小SDGsコーナー」を設置し、環境問題に対して七小でできることを全児童や職員が意識できるようにした。
- 2 現有する教材を最大限に使用し、資源の有効活用を行った。
- 3 環境委員会の活動として古紙回収を行い、燃えるごみの量を減らした。
- 4 環境委員会の児童が食品ロスについて調べ、食品ロスについて知ってもらうためのポスターを作成し、水道付近に掲示した。
- 5 保健委員会の児童が、手洗いの際に使う水の量を調べ、こまめに水を止める大切さを伝える節水ポスターを作成し、水道付近に掲示した。
- 6 放送委員会の児童が、給食で出る残食の量を調べ、食品ロスを減らすように各学級に呼びかけた。

今年度のまとめ

一昨年度から引き続き、学校エコライフ活動プランに沿って「七小SDGs」の各目標の達成を目指し、エコ活動に取り組んだ。

今年度は新たに「七小SDGs」の各目標を意識した活動を全委員会に考えてもらい、環境委員会だけでなく、保健委員会や放送委員会の活動の中でもエコライフ活動への取組を行うことができた。

来年度に向けた目標

節水や節電を呼びかけたり、食品ロスについて知ってもらったりする取り組みを行うことはできたが、自分たちの行動がエコ活動に貢献しているという実感を伴うものではなかった。来年度は、児童一人一人が自分たちの行動によって良い変化が生まれていると感じることのできる取り組みをしていきたい。



七小SDGsコーナー



古紙回収 BOX



学年ごとのSDGs目標



委員会ごとのSDGs目標



節水を呼びかけるポスター



残食減らすことを呼びかけるポスター

館林市立第八小学校

宣言書スローガン

節電・節水を心がけ、資源を大切にしてい 環境にやさしい学校を目指します

取組テーマ

- 1 温室効果ガス排出量ゼロ

取組目標

節電・節水を心がけて生活し、リサイクル活動に取り組みます。

取組内容

- 1 節電ポスターを作成して、照明スイッチ付近に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。
- 2 黒板消しクリーナーを定期的に（月1回）に清掃し、無駄な電力を使わないようにした。
- 3 教室を移動するときや休み時間に人がいないときは、こまめに電気を消すように呼びかけた。
- 4 授業中、換気対策を十分に行ったうえで、教室の空調の設定温度を適切に設定した。
- 5 節水ポスターを作成して、水道付近に掲示し、資源保護の啓発を行った。
- 6 歯みがきはコップを使用したり、手洗いは水を止めて洗うように呼びかけたりした。
- 7 定期的（月1回）に古紙回収を行い、リサイクル活動の意識をもてるようにした。

今年度のまとめ

過年度から継続して、節電を啓発する活動を行うことで、移動教室の際にほとんどの教室で電気が消えているようになった。しかし、節水に関しては、手洗いや掃除のときに水を出しすぎたり流したままで洗ったりしている姿が見られた。

来年度に向けた目標

節水については、引き続き啓発活動を行っていききたい。古紙回収は行っているが、児童のリサイクルに対する意識が不十分である。また、プラスチック回収の取組が進まなかったため、来年度は、リサイクル活動の取り組み方を工夫し、意識が高められるようにしていきたい。

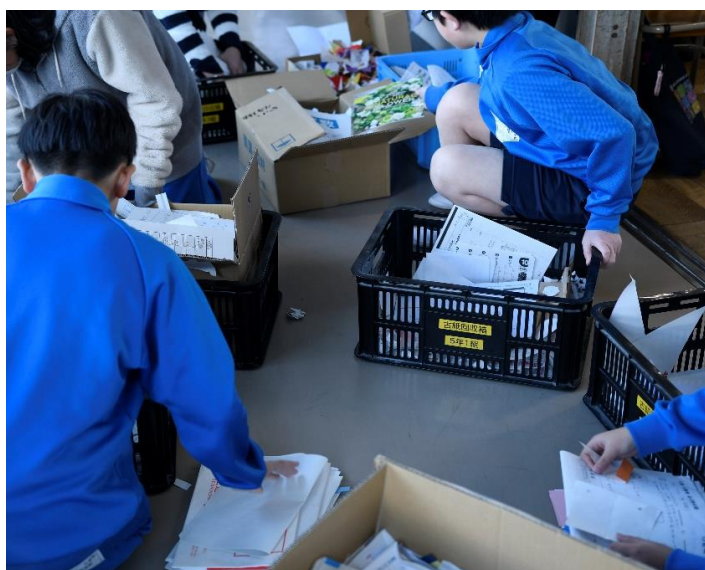
節電を呼びかけるポスター



節水を呼びかけるポスター



古紙回収



宣言書スローガン

身近な自然についてよく学び、自然となかよくできる学校を目指します

取組テーマ

1 身近な自然と私たちの暮らし

取組目標

身近な自然のよさ、問題点に気づき、関わり方を考えよう。

取組内容

- 1 校庭の木を調べる(木となかよしになろう)
- 2 古紙・アルミ缶回収を行う
- 3 クヌギの苗木を育てる
- 4 私たちの渡良瀬川・矢場川の今昔の様子を調べよう
- 5 田んぼの生き物を調べよう
- 6 通学路ハザードマップづくりをしよう
- 7 米作り体験(田植え・稲刈り 含脱穀体験)
- 8 足尾銅山に植林しよう
- 9 世界の環境問題を知ろう
- 10 9小150周年記念植樹の選定
- 11 校庭樹木名プレート制作

今年度のまとめ

周年記念での校庭への植樹、植樹する樹木の選定等、学校全体で木について考え、自然を大切にする心をもつ時間をたくさん設けることができた。また、各学年で身近な自然と関わり、発達段階に応じて環境について考える時間を設定したことで、児童自身が学校エコライフ活動を進め、課題について考え、実行しようという意識が高まった。

来年度に向けた目標

青少年赤十字委員会や園芸飼育委員の活動、総合的な学習の時間を中心として、環境や自然に対する学校全体の意識は向上している。次年度の取り組みでは、児童自ら問題点に気づき、課題を設定し、実践する態度を更に養いたい。



米作り体験(田植え)



米作り体験
(稲刈り 含脱穀体験)



足尾銅山に植林しよう



フォレストリースクール



九小150周年記念植樹の選定



館林市立第十小学校

宣言書スローガン

一人一人が資源やエネルギーを大切に、輝く地球 輝く学校になるように努力します

取組テーマ

- 1 リサイクル
- 2 省エネルギー

取組目標

温室効果ガス排出量「ゼロ」の目標に向かって、一人一人が積極的に、リサイクルや省エネルギー活動に取り組みます。

取組内容

- 1 月に一回、朝、児童玄関にてアルミ缶回収を行った。また、学校公開日には、児童だけでなく保護者にも呼びかけ、協力を依頼した。活動の活性化のために、回収日前には、児童作成のポスターを教室に配付・掲示したり、給食時の放送にて活動実施の連絡をおこなった。また、回収を玄関ごとの対抗戦にし、回収量を測定することで活動の活性化を図った。
- 2 各教室にリサイクル BOX を設置し、月一回の委員会活動時に古紙回収を行った。
- 3 イラストクラブの活動で「節電・節水キャラクター」を考え、環境委員会でコメントを付け加えた省エネに関する掲示物を作成し、照明スイッチや水道付近に貼ることで、節電・節水を呼びかけた。
- 4 移動教室の際には、各学級で電気係などの担当児童が電気を消すよう呼びかけ、消灯の徹底を図った。また職員も、教室やトイレ等のこまめな消灯を意識し、つけっぱなしがないように心がけた。
- 5 環境委員会の児童がリサイクルに関する動画視聴を行い、地球温暖化についての知識を深めた上で、今年度の活動をスタートさせた。また、委員会活動報告会では、それをもとに省エネについて全校児童に呼びかけを行う。
- 6 園芸委員会では、季節ごとに花を植え替えるなど、定期的に花壇の整美を行った。

今年度のまとめ

アルミ缶回収を年3回から月1回の活動に変更し、活動の活性化を図った。また、イラストクラブと環境委員会の児童が連携した「節電・節水キャラクター」の製作や、ICTを活用しての地球温暖化や節電・節水に関する調べ活動は、児童の自発的な省エネ・リサイクル活動につなげることができた。

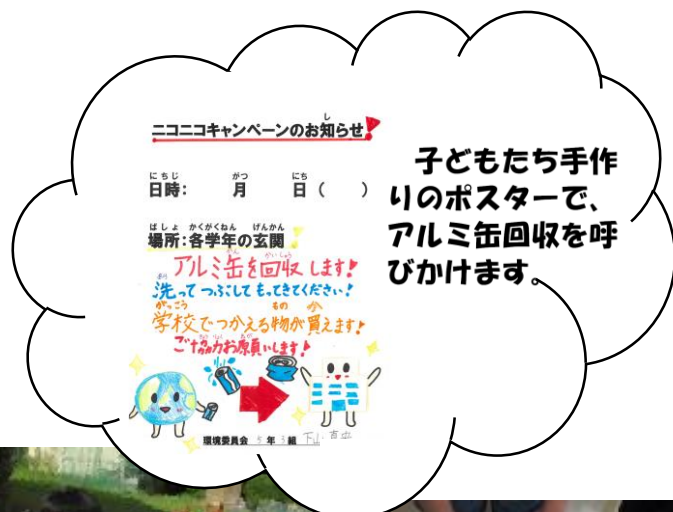
来年度に向けた目標

資源回収活動においても、節電・節水への取り組みにおいても、目に見える達成目標を掲げることで、省エネ・リサイクルへの意識のさらなる高揚を図っていく。各活動の目的を明確に示すことで、全校児童一人一人の自発的かつ日常的な活動に繋がるよう心がけていく。

【古紙回収】 月1回の委員会活動では、各教室の雑紙を集め、段ボールに詰めます。



【アルミ缶回収】
第1金曜日の朝、「ニコニコキャンペーン」実施です。
一人2個のアルミ缶でみんなニコニコになれる活動です。



【節電・節水キャラクター作成】
イラストクラブと環境委員会で協力して、オリジナルキャラクターを作りました。



節電キャラクターの「ライニャン」
節電をしている人を見ると嬉しくなる。
電気を無駄遣いすると夢に出てくるらしい。

節水キャラクターの「スーニャン」
プールや海などの涼しいところが好き。節水
している人には、魔法をかけていい気分にし
てくれるそうだ。



ICT を使って調べながら制作。できあがった作品は、
電気や水道の周りに貼って、節電、節水を呼びかけます。





宣言書スローガン

節水とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します



取組テーマ

- 1 節水
- 2 リサイクル



取組目標

節水とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します。



取組内容

- 1 環境委員会を中心に、校内の各教室にリサイクルボックスを設置し、月に1回、古紙回収を行った。
- 2 手洗いやうがいなど水を使用する際には、「むだづかいをしない」「水を大切に使う」などの意識啓発のためのポスターを、水道の付近に掲示した。
- 3 水を使用する際には、こまめに水を止めるなど、児童や教職員全体で水を大切に扱うようにした。
- 4 「たてばやし5つのゼロ」を校内に掲示して、ごみの分別について意識の向上を図った。
- 5 ごみの分別や古紙回収の際のやり方について、児童と教職員とで、ルールを守って、ごみ出しや古紙回収活動を行った。また、環境委員会で作成した動画を、全校児童が視聴する場を設けて、校内で活動に対して意識が高まるようにした。



今年度のまとめ

学校エコライフ活動を進める中で、学校全体の環境への意識が高まった。水道の水をこまめに止めてむだのないように使ったり、古紙回収のルールを呼びかけたりすることで、紙などの資源を大切に扱うよう、学校全体で、環境に優しい取り組みを心がけることができた。



来年度に向けた目標

環境への意識は向上してきているものの、水を多めに使うなど徹底できていない部分も見受けられた。節水やリサイクルへの呼びかけを通して、さらに児童や教職員一人一人の意識が向上するように、工夫して取り組んでいきたい。





古紙回収ボックス

呼びかけポスター

呼びかけポスター



呼びかけポスター



環境委員による、図書室の本を活用した呼びかけ動画

館林市立第一中学校

宣言書スローガン

身近にできることから、地球に優しい一歩へ！

取組テーマ

- 1 リサイクル
- 2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

取組目標

生徒・教職員が、環境に優しい生活のために身近にできることを考え、実践することで環境に対する意識を高める。

取組内容

- 1 各教室・職員室に古紙回収ボックスを設置し、生徒や職員がリサイクルを実践しました。また、職員室では印刷時に裏紙を利用することができるよう、ボックスを設置しました。
- 2 アルミ缶をリサイクルする意義を呼びかけながら、二週間に一度、昇降口にてアルミ缶回収を行い、生徒だけでなく、家庭でのリサイクルへの意識を高めました。
- 3 アイシティ eco プロジェクトの活動の一環であるコンタクトレンズ空ケース回収を行い、SDGs への関心を高めました。
- 4 冷房や暖房の室温の適正化や使用していない照明の消灯を呼びかけ、各教室で冷暖房を使う際は、空き教室のドアや窓を開けたままにしないよう徹底しました。
- 5 ゴミの分別を生徒と職員で徹底して行いました。

今年度のまとめ

昨年度の活動レポートで他の学校で行っている活動を知り、今年度は新たにアルミ缶回収を導入した。アルミ缶回収では、クラス対抗で回収量を記録したが、クラスによってばらつきが見られた。

来年度に向けた目標

一中では、「使い終わったもの」を回収する活動が多いが、呼びかけや回収量について課題が残った。来年度は、より生徒達のリサイクルへの意欲を高めることができるような工夫をしたい。



職員室での裏紙利用を促進



教室での古紙回収ボックス



アルミ缶回収を呼びかけるポスター



アルミ缶回収



集まったアルミ缶



コンタクトレンズ空ケース回収



環境ポスター



エアコンを使用する際の注意点

宣言書スローガン

二中から、みんながすごしやすい環境を

取組テーマ

- 1 CS
- 2 地域
- 3 SDGs

取組目標

CS を活用し、環境整備を通して、地域と学校の関わりを増やす

取組内容

- 1 アルミ缶回収・・・毎週水曜日にアルミ缶を玄関前の広場で回収をする。
- 2 つつじの子房摘み・・・つつじのまち観光課の職員の方に指導をしてもらいながら行った。
- 3 地域の花植え活動・・・地域の農業組合の方と一緒に郷谷地区に花を植えた。
- 4 二中版 SDGs の実践・・・昨年度作成した物を校内掲示し、啓発をした。
- 5 廃品回収・・・PTA の取り組みの一環で、教員・保護者・生徒で協力をして行った。
- 6 地域の清掃活動・・・生徒会主催で、地域の方と生徒と一緒に清掃活動をした。
- 7 加法師川清掃・・・地球環境課の方に清掃道具等をお借りして全校で加法師川を清掃活動を行った。

今年度のまとめ

今年度は、CS を活用し、環境整備を通して地域と学校の関わりを増やすことを目標に、学校周辺の環境整備を中心に取り組んだ。新たな取り組みも多く、地域の方と連絡を取り合う場面等では課題も見つけたが、地域の方にはたたらきかけることで、一緒に地域環境の整備をすることができた。

来年度に向けた目標

今年度見つけた課題を改善しつつ、今後も地域の方と協力をして、校内だけでなく地域の環境整備に貢献をしていけるようはたらきかける。



アルミ缶回収



加法師川清掃



花植え活動



地域の清掃活動



つつじの子房摘み



廃品回収



館林市立第三中学校

宣言書スローガン

限りある資源を守り、エコの意識を高めよう！

取組テーマ

- 1 省資源
- 2 リサイクル

取組目標

様々な資源回収に取り組み、エコの意識を高める

取組内容

- 1 隔月で登校時に古紙・アルミ缶回収を実施し、家庭にある資源ごみの回収を行った。
- 2 廊下に回収箱を設置し、ペットボトルキャップの回収を行った。
ただ回収するだけでなく、回収箱にアンケートをつけ、2択に投票するようにし、楽しく回収できるように工夫した。投票結果は給食時に放送で発表した。
- 3 教室に古紙回収ボックスを常時設置し、古紙回収を行った。

今年度のまとめ

- ・古紙・アルミ缶回収を通してリサイクルの意識を高めることができた。
- ・キャップ回収は投票式になっていたので楽しみながらエコ活動が実践できた。

来年度に向けた目標

環境委員会だけでなく、学校全体で取り組む常時活動や他の委員会と協力して行う活動などを考えていきたい。

1. 隔月に行った、古紙・アルミ缶回収



2. 廊下に設置されたアンケート式のキャップ回収箱



3. 委員会の常時活動のクラスの古紙回収



宣言書スローガン

エコを大切にし、自然を誇れる四中へ

取組テーマ

- 1 美化・緑化活動
- 2 温室効果ガス排出量ゼロ

取組目標

古紙回収や清掃等の環境に配慮した取り組みを積極的に行い、四中や四中の森のより良い環境づくりを目指します。

取組内容

- 1 四中の森保全活動その1：スズメバチトラップを設置し、自然との共存を目指しました。
- 2 四中の森保全活動その2：里沼育成ボランティアに参加し、四中の森の清掃活動を行いました。
- 3 環境をテーマとした、標語づくりや Google スライドによるポスター製作等に取り組み、四中生の環境保全への意識を高めました。
- 4 Google Forms を使って環境意識調査を行い、四中生の環境への意識の変化を調べました。
- 5 PTA 主催の環境美化活動を実施し、きれいな学校や地域を目指しました。
- 6 春と秋に花いっぱい運動を行い、多くの花が咲く学校を目指しました。
- 7 使用しない教室の照明や扇風機等は、生徒が率先して消しました。
- 8 各教室に古紙回収ボックスを設置し、資源の再利用の推進とゴミの削減をしました。
- 9 四中の環境に関する取り組みを模造紙にまとめて掲示し、四中生の環境への意識の向上を目指しました。
- 10 総合的な学習の時間で、里沼の環境や里沼文化を題材として探究的な学習に取り組み、学んだことを Google スライド等にまとめたり、PR ポスターにして発信したりしました。

今年度のまとめ

生徒が主体となって、様々な取組を実施できた。専門委員会の時間にアンケートを実施し、環境について考える機会を増やすことで、四中の環境への意識向上に繋がったと考えている。また、校内の掲示や公民館まつりでの展示により、校内だけでなく地域にも活動を周知し、環境への意識の向上に寄与できたと考えている。

来年度に向けた目標

様々な取組の実施により、学校全体の環境への意識は向上することができたが、日常生活において主体的に取り組むことができる生徒は少ない。生徒が課題意識をもってエコライフ活動に取り組めるよう、工夫していきたい。花の水やりの強化やポスターのデザインの工夫等、環境への意識の向上を目指せるような取組を模索していきたい。



1 スズメバチトラップ作成



3 環境ポスター



6 花いっぱい運動 (左:春、右:秋)



9 環境委員会掲示板

2 里沼育成ボランティア (四中の森)

(よくできている: B) できていない: C) あまりできていない: D) できていない

	6月 (%)	12月 (%)	環境委員会より
節電	A: 51.5 B: 36.7 C: 1.8 D: 1.0	A: 62.2 B: 36.2 C: 1.5 D: 0.1	節電への意識は少し高まっており、電気が消されていることが多い。ただ、移動教室の時に電気が消されていないことが時々あったので、早急して節電していきたい。
排水・無断垂れ	A: 46.7 B: 42.0 C: 9.0 D: 1.5	A: 40.4 B: 48.4 C: 9.5 D: 1.5	結果的にあまり変化はないが、排水等を監視で見ている生徒は多く見られる。ただ、水やハンドソープの無断垂れをしている様子も時々見られるので、特に監視して行きたい。
ゴミ捨て	A: 38.5 B: 46.4 C: 12.7 D: 2.4	A: 31.1 B: 47.8 C: 17.3 D: 3.3	監視監視ができていない生徒が増えてしまった。特に3年生で監視監視が苦手な人が多く見られるので、初め監視監視をまず意識させるべく声かけ等を心掛けていきたい。
清掃	A: 37.9 B: 57.1 C: 4.4 D: 0.6	A: 36.3 B: 69.9 C: 4.5 D: 0.3	清掃はできていると認識している生徒が多かった。特に、1年生は清掃への意識も取り組みの姿勢もとてもよかった。ただ、3年生は時間いっぱいまで清掃をしていない生徒が多く見られた。今後の課題として。
生徒での活動	A: 27.5 B: 55.4 C: 1.5 D: 1.5	A: 26.3 B: 68.3 C: 1.5 D: 1.5	家庭でも環境に優しい生活を心掛けようとしている生徒が増えている。特に、節電の意識が高まっている様子だった。この調子で家庭での環境活動も進めたい。

4 環境意識調査



8 古紙回収



10 総合的な学習の時間 (里沼調べ, PR ポスター)

館林市立多々良中学校

宣言書スローガン

緑を育て、みんなの笑顔を咲かせよう

取組テーマ

1 美化・緑化活動

取組目標

花壇の整備、花の植え替えなどの環境整備を通し、美しくてみんなが笑顔でいられる多々良中にする。

取組内容

- 1 花壇の水やりと整備では、草むしりと花への水やりを行う。
- 2 グリーンカーテンの作成を行い、1年生の教室前にリュウキュウアサガオのカーテンが掛かるようにし、熱中症対策を行う。
- 3 各教室にエコボックスの設置し、青少年赤十字委員と連携しながら、古紙の回収を行う。
- 4 秋の落ち葉拾いを実施する。環境たたら委員が中心となり、日々の活動を行い年末には各部活動で活動場所の落ち葉を清掃する。
- 5 節電・節水の呼びかけを行った。各クラスや水道場にポスターを貼ったり、朝の会、帰りの会などで呼びかけを行ったりする。
- 6 花壇の花植えをPTA役員と環境たたら委員会、地域の方々とC.Sの活動も兼ねて協力して行う。
- 7 生徒会本部が主体となり、地域清掃と題し、多々良沼周辺と松林の清掃活動を行う。

今年度のまとめ

CSの活動がより活性化できたように感じた。
卒業生が花壇整備に参加したり、高校からのボランティアも参加した。

来年度に向けた目標

他の委員会、部活動等学校全体に活動の輪を広げていきたい。



緑の羽募金

グリーンカーテン作成



コミュニティースクールの活動・花壇整備



たてばやし学校エコライフ活動 ガイドライン

1 目的

たてばやし学校エコライフ活動は、第三次館林市環境基本計画の施策「学校での環境教育の推進」を実現するために、学校での環境教育・環境学習を円滑に推進し、館林市の環境保全と創造に資することを目的とする。

2 たてばやし学校エコライフ活動の推進

(1) 学校エコライフ活動に取り組む方向性及び内容の決定

当該学校と環境との関わりを再認識しつつ、当年度の1年間実施していく学校エコライフ活動の宣言（スローガン）を決める。

たてばやし学校エコライフ活動のテーマ・内容、さらに活動主体等を検討し、「学校エコライフ活動プラン」を作成する。可能ならば、進め方や活動実績の残し方も決める。

※作成文書：学校エコライフ活動宣言書、学校エコライフ活動プラン

(2) 学校エコライフ活動の実施

各学校内で、環境活動を実施し、必要に応じて実施記録を残す。

(3) 学校エコライフ活動の報告

1年間の環境活動を振り返り、実施記録等を参考に、「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」を作成し、地球環境課に報告する。

環境活動の取組結果を、学校内、保護者等に周知する。

※作成文書：たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

(4) たてばやし学校エコライフ活動の継承

次年度の担当者に引き継ぐ事項を確認し、記録をまとめ、次の担当者に引き継ぐ。

3 取組の公表及び表彰

学校教育課及び地球環境課は、学校エコライフ活動に取り組んでいる学校の取組内容を紹介するとともに、先進的な取組や積極的な活動を実施している学校を選定し、表彰する。

4 環境教育・学習の推進

授業における環境教育・学習については、年度当初に各校が環境教育全体計画を作成し、推進する。

たてばやし学校エコライフ活動報告書（令和6年度版）

令和7年2月

■発行 館林市 市民環境部 地球環境課
館林市教育委員会 学校教育課

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号

TEL：0276-72-4111（代表）内線451

E-mail：kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp

URL：<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/s024/kurashi/120/050/020/20200108091000.html>

※ たてばやし学校エコライフ活動報告書の著作権は、発行元及び各児童生徒にあります。
文章・写真等の無断使用はお断りいたします。